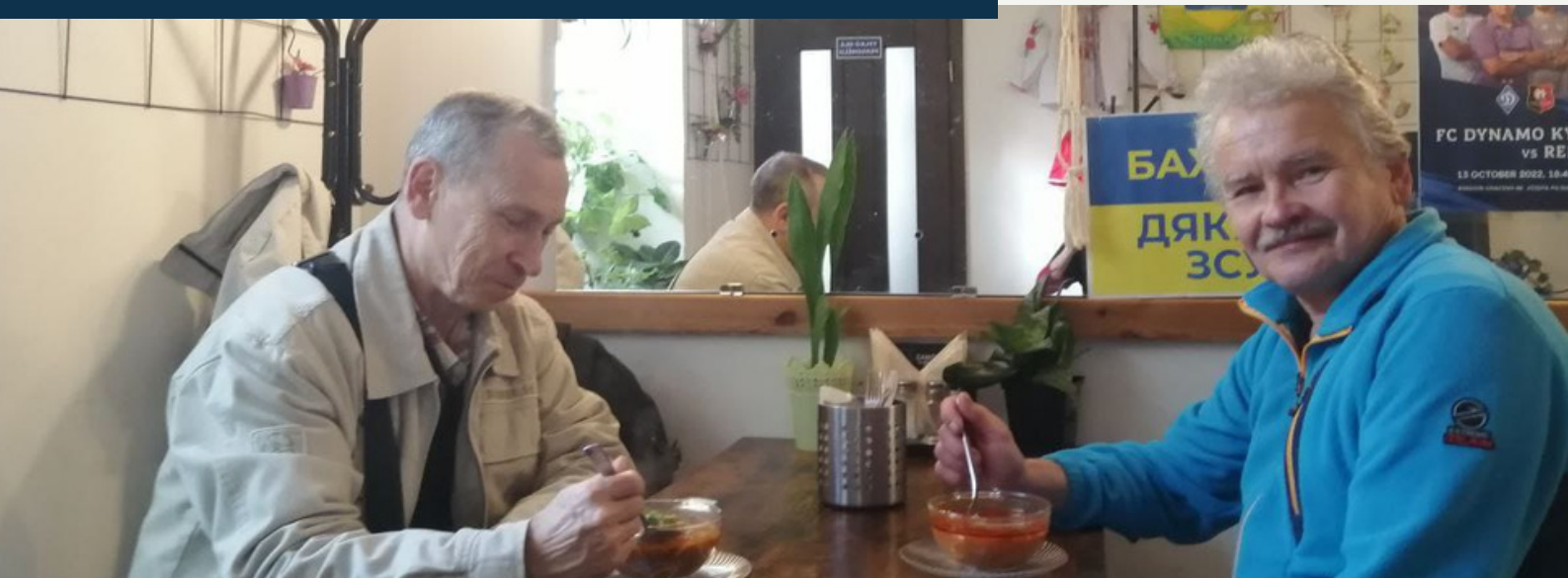
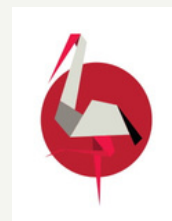


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年11月1日 / Vol. 025



10月24日(月)～10月30日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援

支援所の視察



現地ボランティアから相談を受け、ウクライナから避難してきた親子26名が滞在する支援所を視察。

ご支援総額

2022年10月26日までの寄付総額 106,202,743 円

寄付金使用総額 2746141.61 zł (約7964万円)

10/24(月)～10/30(日)の期間中の寄附金使用額

38626.44 zł (約112万円)

活動内容



支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

福田会ボランティアスタッフが同行し、1週間分の必要物資を購入。

支援所に物資の提供を求める人の数は日に日に増えている。



レストランプロジェクト

市内レストラン2店舗と協力し、1週間で約530食を提供。

11月の支援に向け、クーポンの仕分け作業を行った。写真は、クーポンを配布先ごとに分け、ナンバリングしている様子。



食材支援（毎週金曜日）

26家族に1週間分の昼食用食材を提供。一人あたり50złの予算を設け、合計で3605.94 zł（約105,000円）分の食材を購入。

新鮮な肉類は支援所で配布してもらう事が出来ないから、という理由で毎週肉類をメインに購入している女性もいる。



支援所の視察

現地ボランティアから相談を受け、避難民の親子26名が滞在する避難所を視察。

小さなキッチンしかなく支援も得られていないため、食事面でサポートしてもらえないか、と相談を受けた。

現在配布しているレストランクーポンの配布数を調整し、こちらの支援所へ回せないか検討中。





現地の動向

冬服支援で連携しているクラクフ市福祉課では、無料のポーランド語講座やカウンセリングを実施し、多方面からウクライナ避難民の支援を行っている。

無料のポーランド語講座は、予約開始後すぐに定員に達してしまうほど需要が高く、ポーランドで生活を立て直そうとするウクライナ避難民にとって、非常に重要な支援となっている。

また、支援活動にあたるボランティアのための講座も開講しており、不足しているボランティア確保のための体制作りにも取り組んでいる。

Facebookでのクラクフにおけるウクライナ支援コミュニティでは、少しでもクラクフでの生活費を稼ごうと、ウクライナ避難民による絵画や手作りニットを販売に出す投稿が見られている。



出典：Facebook - Kraków dla Ukrainy - pomoc na miejscu w Krakowie